

# 電波監理審議会（第1066回）議事要旨

## 1 日時

令和元年7月10日（水）15:00～16:26

## 2 場所

総務省会議室（10階1002会議室）

## 3 出席者（敬称略）

### (1) 電波監理審議会委員

吉田 進（会長）、兼松 由理子（会長代理）、林 秀弥、長田 三紀

### (2) 審理官

藤田 和重、長屋 文裕

### (3) 幹事

梶田 昌生（総合通信基盤局総務課課長補佐）

### (4) 総務省

谷脇総合通信基盤局長、吉田情報流通行政局長、田原電波部長 他

## 4 議事模様

### (1) 周波数割当計画の一部を変更する告示案（V-High帯域の有効利用に向けた制度整備）

（諮問第18号）

審議の結果、諮問のとおり変更することが適当との答申をした。

#### 【内容】

V-High帯域における新たなシステムの導入の促進のため、周波数割当計画を変更するもの。

### (2) 平成30年度電波の利用状況調査の評価

（諮問第19号）

審議の結果、諮問のとおり評価することが適当との答申をした。

#### 【内容】

平成30年度に実施した3.4GHz超の周波数帯の電波の利用状況調査に基づく電波の有効利用の程度について評価するもの。

### (3) 日本放送協会放送受信規約の変更の認可

（諮問第20号）

審議の結果、諮問のとおり認可することが適当との答申をした。

#### 【内容】

日本放送協会の受信料の負担軽減策の一環として、受信規約で定めている受信料の支払開始の月を、現行の「設置月」から「設置の翌月」に変更するための規定の整備等に対して認可するもの。

(4) その他

「周波数再編アクションプラン（令和元年度改定版）」（案）、日本放送協会平成30年度決算の概要の2件について、総務省から報告があった。

（文責：電波監理審議会事務局）